

ASEAN 大使通信
第 27 回 世代を超えた心と心のパートナー

2025 年（令和 7 年）2 月 28 日



アジア若手研究者フォーラムとの意見交換会
(2025 年 2 月 7 日、於 ASEAN 日本大使公邸)

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。3 月のラマダン（断食月）を前に、2 月中は ASEAN 関連の会議や行事が多数開催されて、当代表部も大忙しでした。

2 月前半は、福岡で日 ASEAN 防衛実務者会合が開催されました。ジャカルタではアジア若手研究者フォーラム参加者との意見交換や大阪・関西万博の ASEAN パビリオン出展に向けての最終打ち合わせを行い、ASEAN 本部事務局で日 ASEAN フードイベントを開催しました。2 月後半は、ジャカルタで日・UNDP・ASEAN 連携のブルーエコノミーEXPO&ビジネスマッチング行事や日 ASEAN ユースサミットを開催し、月末はハノイに出張して ASEAN 未来フォーラムに参加しました。

今月は、特に「世代を超えた心と心のパートナー」関連の交流事業が大きく進展したと感じています。今回の ASEAN 大使通信では、今月行われた一連の会議や行事とともに、日 ASEAN 間の人的交流の重要性について一緒に考えていきたいと思います。



日 ASEAN 防衛当局次官級会合（2025 年 2 月 11 日、於福岡、防衛省提供）

●日 ASEAN 若手研究者交流と防衛交流

2 月 7 日、「アジア若手研究者フォーラム(Asian Youth Scholars Forum)」の参加者を大使公邸に招いて意見交換を行いました。「アジア若手研究者フォーラム」は、日本国際問題研究所（JIIA）の海外短期特別招聘事業に参加して日本で研鑽を深めた若手フェローの 1～3 期生が会し、日本での体験や研究調査について発表する、JIIA とインドネシアのシンクタンク FPCI が共催するフォーラムです。

私からは、2023 年に友好協力 50 周年を迎えた日 ASEAN 関係の現状と展望、ASEAN 各国と日本の信頼関係の深化についてプレゼンテーションを行い、質疑応答で議論を深めました。

翌週の 2 月 11 日には、毎年恒例の日 ASEAN 防衛高級実務者会合が福岡で開催されました。今回が 14 回目になります。議長は加野幸司防衛審議官が務め、ASEAN 各国と ASEAN 事務局（アスタナ事務次長）に加え、東ティモールがオブザーバー参加しました。

今回の会合では、2023 年の日 ASEAN 防衛担当大臣会合で日本が提示した「防衛協力強化のための日 ASEAN 大臣イニシアティブ（JASMINE）」の下での具体的な防衛協力の実績を確認し、新たな取組の実施に向けての議論や二国間会談も行いました。



ナラリヤ ASEAN 事務次長と万博担当部局とのワーキングランチ
(2025 年 2 月 11 日、於 ASEAN 代表部大使公邸)

●大阪・関西万博に向けて

4 月 13 日～10 月 13 日に開催予定の大阪・関西万博に向けての準備も着々と進んでいます。ASEAN パビリオンの開設のために ASEAN 事務局の担当者が現地入りするのに先立って、2 月 11 日にナラリヤ事務次長はじめ ASEAN 事務局担当部局の全員を公邸に招き、昼食を交えて[最終打ち合わせ](#)を行いました。

ASEAN パビリオンのテーマは「橋をかける (Building Bridges)」で、様々なコンセプトを表現する[ロゴ](#)も先般発表されました。さらに、ASEAN 事務局のウェブサイトには、既に [ASEAN パビリオン紹介のページ](#)が立ち上げられています。ASEAN 各国のパビリオンを回ってスタンプを集める「大阪・関西万博 ASEAN パスポート」をはじめ、楽しい企画を予定しています。

今月の ASEAN 本部事務局での和食イベントや 2 月 20 日の天皇誕生日祝賀レセプションでも、大阪・関西万博のブースを開設して広報しました。4 月の開会式に向けて、当地でも新たな行事を企画中です。

大阪・関西万博は、[日 ASEAN 共同ビジョンステートメントの実施計画](#)でも、「世代を超えた心と心のパートナー」の一項目として位置づけられています。これからも積極的な広報に取り組みたいと思います。



和食イベント【写真を高画質に要差し替え】
(2025 年 2 月 14 日、於 ASEAN 本部事務局)

●ASEAN 本部事務局での和食イベント

2 月 14 日、ASEAN 本部事務局で 6 回目となる[和食イベント](#)を開催しました。今回はおせち料理をテーマに、ASEAN 各国や対話国の代表部、ASEAN 事務局の職員に日本の食文化を伝えました。

ジャカルタの日本料理店「奥園日本ダイニング」の島田尚幸総料理長から、おせち料理に込められた意味やそれぞれの食材などを紹介し、日 ASEAN 食料・農業友好親善大使の[メロディさん](#)からも、ご自身のおせち料理への思いを説明していました。

さらに今回は、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、東ティモールの代表部からも、お祝いの料理を中心にそれぞれ提供いただき、食を通じて日 ASEAN 交流を深めることができました。各国のご協力に感謝申し上げます。

今回の和食イベントは、当代表部から[動画](#)で紹介した他、[日本国内のニュース](#)でも取り上げられました。また、これに先だって 1 月に「奥園日本ダイニング」で[プレイベント](#)を開催し、インドネシアのメディアを招いた際にも、[テレビ](#)や新聞をはじめ幅広く報道され、メロディさんの [Instagram](#) でも紹介いただきました。



ブルーイノベーション EXPO&ビジネスマッチング
(2025 年 2 月 19 日、於ジャカルタ市内)

●ブルーイノベーション EXPO&ビジネスマッチング

2 月 19 日、[「ASEAN ブルーイノベーション EXPO&ビジネスマッチング」](#)をジャカルタの市内ホテルで開催しました。これは、日本・UNDP・ASEAN 事務局の 3 者が共同で進める [ASEAN ブルーエコノミー・イノベーション・プロジェクト](#)の集大成となる行事です。

ASEAN10 カ国と東ティモールからのスタートアップを含めたイノベーター60 機関が、持続可能な水産業・海洋プラスチック問題の解決・気候変動の課題の解決・持続可能な観光を促進する、革新的な技術やビジネスモデルを発表するとともに、日本をはじめとする一般企業やインパクト投資家と直接交流する有意義な機会となりました。

前日の 18 日には、この行事に参加するためにジャカルタを来訪した[日本企業・団体の方々](#)を公邸に招き、この分野での日 ASEAN 協力の強化に向けて意見交換を行いました。いずれもブルーエコノミーやイノベーションに高い関心を持つ皆様で、その場で LINE グループを作り、これからも連絡を取り合うことになりました。

この事業は、経済・社会課題への解決に向けて日 ASEAN が共創する、まさに典型的な取組だと感じています。引き続きフォローアップしたいと思います。



日 ASEAN ユースサミット開会式
(2025 年 2 月 20 日、於 ASEAN 日本政府代表部)

●日 ASEAN ユースサミット

2 月 20 日～21 日、ジャカルタで第 1 回日 ASEAN ユースサミットが開催されました。このイベントは、東京大学の学生を中心に東南アジアと日本の社会課題解決のためのプロジェクトを実行する学生 NPO の [MIS \(Multilateral Interaction of Students\)](#) と、ASEAN 側のユース団体で昨年 ASEAN 賞も受賞した [AYO \(ASEAN Youth Organization\)](#) が共同で企画し、日本・ASEAN・東ティモールから約 50 名の高校生・大学生を招待して開催したものです。

初日の 20 日は、ASEAN 日本政府代表部講堂で開会式と全体会・分科会が行われました。開会式では、[カオ・キムホン ASEAN 事務総長が参加](#)し、[基調講演](#)がありました。極めて多忙な事務総長がこの行事に出席・講演したことで、ASEAN トップの次世代育成にかける熱意を強く感じました。

引き続き、私が高校生・大学生の皆さんと「日本と ASEAN の将来」や「参加者自身の将来のキャリア」について話し合う対話セッションを行いました。参加者からは積極的な質問が最後まで続き、若者のエネルギーを実感しました。

翌 21 日は、現地視察や ASEAN 本部事務局と滞在ホテルの会場にて、ワークショップ・最終発表を行った由です。次回開催に向けて、引き続き後押ししていきたいと思います。



ASEAN 未来フォーラムでの岩屋毅大臣ビデオ・メッセージ
(2025 年 2 月 26 日、於ハノイ)

●世代を超えた心と心のパートナー

2 月の最終週にはハノイに出張し、25 日～26 日に ASEAN 未来フォーラムに参加しました。[ASEAN 未来フォーラム](#)は、ASEAN の将来について ASEAN と域外パートナーの双方から政府と有識者が集まり議論するために、ベトナム政府のイニシアティブで昨年初めてハノイで開催されました。本年は、ベトナムのチン首相に加え、ASEAN 議長国マレーシアのアンワール首相、東ティモールのラモス＝ホルタ大統領、NZ のラクソン首相ほかが出席しました。

地政学的対立と ASEAN の役割に関する全体会合では、[岩屋毅外務大臣がビデオ・メッセージ](#)を寄せました。国際社会が大きく揺れ動いている今だからこそ、自由や法の支配を擁護し、多様性、包摂性、開放性を尊重していくことが重要であるとして、引き続き ASEAN と手を携え、「インド太平洋に関する ASEAN アウトルック (AOIP)」AOIP の主流化を進めたいとの考えを伝えました。

地域と世界の平和と安定から経済・社会課題の解決に至るまで、幅広い世代の交流と相互理解が基盤になると実感しています。これからも、[「世代を超えた心と心のパートナー」](#)の深化に向け、人的交流を推進していきたいと思ひます。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦